

基本目標 1

健やかに安心して暮らせる やさしいまち

医療 保健 福祉

住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、子どもの健やかな成長をみんなで見守るとともに、ライフステージに応じた適切な保健・医療・福祉・介護サービスの提供と、健康づくりや疾病予防の充実に努めます。

また、地域の基幹病院である市立病院の医療機能の充実を図るとともに、地域の医療機関における相互連携の強化など地域医療を守るための取り組みを推進し、いつでも安心して医療を受けられるまちを目指します。

施策 1-1	(子育て支援、母子保健、母子・父子福祉) ……………	38
	子どもの健やかな成長をみんなで支えるまちづくり	
施策 1-2	(高齢者福祉) ……………	40
	高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり	
施策 1-3	(障がい者福祉) ……………	42
	障がい者が地域で安心して生活できるまちづくり	
施策 1-4	(地域福祉) ……………	44
	地域で支え合う福祉のまちづくり	
施策 1-5	(健康) ……………	46
	心身ともに健康で暮らせるまちづくり	
施策 1-6	(医療) ……………	48
	安心して医療を受けることができるまちづくり	
施策 1-7	(社会保障制度) ……………	50
	社会保障制度の健全運営に努めるまちづくり	

基本目標 1 健やかに安心して暮らせるやさしいまち

施策
1-1

(子育て支援、母子保健、母子・父子福祉)
子どもの健やかな成長をみんなで支えるまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

安心して子どもを生き育てることができるよう、生まれる前から子育て期まで切れ目なく総合的に支援を実施し、次代を担う子どもの成長を地域で育む機運を高めることで、全ての子どもが心身ともに健やかに成長できるまちを目指します。

現状と課題

少子高齢化や核家族^{*}化の進行により、家庭での子育て力が弱くなってきており、本市においても子どもや家庭に対する支援がより一層必要な状況にあります。そのため、誰もが安心して子どもを生き育てられる環境づくりが必要であり、妊娠・出産期から子育て期まで、切れ目のない支援を実施する「子育て世代包括支援センター^{*}」の設置や、子育てに関する諸問題に対応した「子ども家庭総合支援拠点」の設置が求められています。

子どもの健やかな成長は、未来の活力ある社会へとつながるため、砂川市子ども・子育て支援事業計画や砂川市次世代育成支援地域行動計画に基づき、子育て支援の充実を図るとともに、地域が連携して子育てを支援していく環境づくりを進める必要があります。

また、子育てと仕事の両立を支えるため、家庭の状況やニーズに応じた保育環境などの充実を図るとともに、関係機関と連携を図りながら、保護者に対する支援を行う必要があります。

保育所入所児童数の推移

(単位：人)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ひまわり保育園	89	83	76	82	105
さくら保育園	72	78	81	84	89
空知太保育所	45	43	55	53	55
合 計	206	204	212	219	249

※各年度月平均入所者数

(資料：保健福祉部社会福祉課)

学童保育所入所者数の推移

(単位：人)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
北光学童保育所	16	18	15	12	13
空知太学童保育所	40	37	35	38	39
砂川学童保育所	42	43	42	37	35
豊沼学童保育所		8	11	17	16
中央学童保育所	18	22	15	20	21
合 計	116	128	118	124	124

※各年度月平均入所者数

(資料：保健福祉部社会福祉課)

※平成28年度に、砂川南学童保育所が砂川学童保育所と豊沼学童保育所に分割

用語解説

- ※ 核家族……夫婦、あるいは夫婦と未婚の子どもだけで構成される家族。
- ※ 子育て世代包括支援センター……妊産婦、乳幼児等の状況を、継続的・包括的に把握し、妊産婦や保護者の相談に保健師等の専門家が対応するとともに、必要な支援の調整や関係機関と連絡調整するなどして、切れ目のない支援の提供を行っている。

基本事業とねらい

基本事業

① 子育て支援環境の充実

親子のふれあいや子育て中の人交流できる場を充実させ、子育てに関する相談や情報提供を行います。また、妊娠期からの切れ目のない支援を実施するとともに、児童虐待の予防や早期発見、早期対応など、関係機関や地域と連携することで、安心して子どもを生み育てられる環境づくりに努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
子育て環境に満足している世帯の割合(就学前児童)(単位:%)	55.6	58.4	61.3	砂川市子ども・子育て支援事業計画の策定に係るアンケート調査で、「砂川市は、子育てのしやすい環境だと感じますか」の問いに、「とても子育てしやすいと思う」・「まあまあ子育てしやすいと思う」と回答した世帯の割合
子育て環境に満足している世帯の割合(小学生)(単位:%)	45.4	47.7	50.1	

基本事業

② 保育サービスの充実

快適な保育環境の整備に努めるとともに、必要となる保育の量の確保や質の向上により、働きながら安心して子育てができるよう、家庭環境や就労形態などの多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図ります。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
保育所待機児童数(単位:人/年)	0	0	0	保育所の入所を待機している児童数

基本事業

③ 児童育成環境の充実

安全で安心して過ごすことのできる放課後の居場所や学童保育事業の体制強化と質の向上を図り、様々な遊びや体験活動、集団生活を通して豊かな心の育成に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
学童保育所待機児童数(単位:人/年)	0	0	0	学童保育所の入所を待機している児童数

基本事業

④ 母子保健対策の充実

次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに生まれ育ち、生涯を通じた健康づくりのための生活習慣の基礎を築いていけるよう、医療や福祉などの関係機関との連携を強化し、妊娠、出産、育児期を通して継続した支援に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
乳幼児健診受診率(単位:%)	99.7	100.0	100.0	3～4か月児・6～7か月児・1歳6か月児・3歳児健診を受診した乳幼児の割合

基本事業

⑤ ひとり親家庭の支援

ひとり親家庭が安定した生活を送れるよう、ハローワーク(公共職業安定所)などの関係機関と連携し、相談や自立支援の実施に努めます。また、母子・父子自立支援員による相談・助言や情報提供を行い、不安の解消と家庭生活の安定・向上に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
就業支援策により就業または増収に結びついた世帯数(単位:世帯/年)	4	5	6	ひとり親家庭への就業支援策により、就業または増収した世帯数

関係個別計画

- ・砂川市子ども・子育て支援事業計画
- ・砂川市次世代育成支援地域行動計画
- ・健康すながわ21
- ・砂川市食育推進計画
- ・砂川市自殺対策計画

基本目標 1 健やかに安心して暮らせるやさしいまち

施策
1-2

(高齢者福祉)

高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

市民、事業所などと連携を図り、高齢者への介護予防サービスや生活支援の推進、社会参加と生きがいの支援などにより、自立した生活を保ち、介護が必要になった場合でも、サービスの提供や地域の支え合いによって幸せに暮らせるまちを目指します。

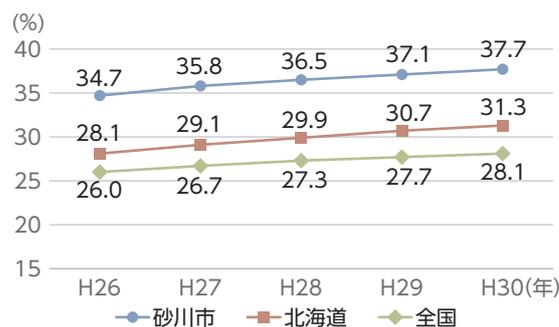
現状と課題

本市の高齢化率は上昇傾向が続いており、令和7年（2025年）には団塊の世代*が75歳以上になり、令和22年（2040年）には団塊ジュニアの世代*が65歳以上になるなど、高齢化がさらに進む中で、介護予防や生活支援の必要性が増加しています。社会参加や社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながることから、元気な高齢者が支える側として活動できる仕組みづくりが重要な課題となっています。こうした社会動向の変化を踏まえ、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活を送ることができるよう、老人クラブや地域サロン*団体など的高齢者の主体的な活動に対する支援が求められています。さらに高齢者のニーズを把握したうえで、市民、事業所などと連携して社会参加のための環境整備に努めるとともに、介護予防サービスや生活支援の推進など、高齢者福祉対策の充実を図る必要があります。

また、人口に占める高齢者及び高齢者世帯の割合が高くなることが予想される中、高齢者が可能な限り在宅で暮らし続けるためには、地域包括支援センター*の総合相談窓口としての機能強化を推進するとともに、地域で高齢者を見守る・支える活動において、町内会、民生委員、事業者などとの連携を図り、地域包括ケアシステム*の深化・推進に取り組む必要があります。

さらに、認知症高齢者などへの支援体制の強化や高齢者虐待防止の取り組みの充実を図るとともに、介護者の負担を軽減するための支援を充実させ、介護者も元気に安心した生活ができる環境づくりを進める必要があります。

高齢化率の推移（各年10月1日現在）



（資料：保健福祉部介護福祉課）

用語解説

- * 団塊の世代……昭和22年から昭和24年頃の第1次ベビーブーム時代に生まれた世代。約810万人と推定され、前後の世代に比べて2～3割程度人口が多い。
- * 団塊ジュニアの世代……昭和46年から昭和49年頃の第2次ベビーブーム時代に生まれた世代。年間の出生数が200万人を超え、前後の世代に比べ人口が多い。
- * 地域サロン……高齢者の仲間づくり、生きがいづくり、又は介護予防など高齢者がいきいきと自立して暮らしていくために、地域住民が自主的に運営する団体活動のこと。
- * 地域包括支援センター……高齢者に対する生活支援の相談、介護予防ケアマネジメントなどを総合的に行う機関。
- * 地域包括ケアシステム……高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが日常生活圏域で、切れ目なく提供される体制をいう。

基本事業とねらい

基本事業

① 社会参加と生きがいづくりの支援

高齢者が生きがいに満ちた豊かな生活を送れるよう、高齢者自らが学習・文化・スポーツ活動や地域活動、就労などを通じて、地域社会へ積極的に参加できる環境づくりを進めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
生きがいづくり事業の参加者数 (単位：人/年)	12,027	12,500	13,000	ふれあい講座・サークル・地域サロン・高齢者軽スポーツフェスティバルへ参加した年間延べ人数

基本事業

② 介護予防の推進

高齢者が生涯を通じて健康で、できる限り介護を必要とせず、住み慣れた地域で自立して安心した生活を送れるよう、多様化する高齢者のニーズを把握した介護予防サービスを提供できる体制の整備に努め、各種介護予防事業の充実を図ります。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
介護サービス未利用率 (単位：%)	85.6	86.0	86.4	65歳以上人口のうち、介護サービスを利用していない人の割合

基本事業

③ 高齢者が安心して自分らしく暮らすことができるサービスの充実

高齢者が認知症や要介護状態になったとき、またはその介護者などが支援を必要とするときに対応するため、地域包括支援センターを中心に、介護サービス事業者、医療機関、地域団体などが連携し、高齢者が安心して暮らすことができるサービスの充実を図ります。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
高齢者福祉の充実に満足していない市民の割合 (単位：%)	19.4	17.5	15.0	市民アンケートで、「やや不満」・「不満」と回答した市民の割合

基本事業

④ 高齢者の在宅生活への支援

高齢者が安心して在宅生活を続けるため、町内会や民生委員などと連携しながら、地域において見守り・支え合いを行います。さらに高齢者への在宅福祉サービスの充実や家族の介護負担を軽減する事業の実施など、支援の充実を図ります。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
高齢者の施設入所率 (単位：%)	3.6	3.5	3.4	65歳以上の介護保険第1号被保険者のうち、介護施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院)に入所している人の割合

関係個別計画

- ・砂川市高齢者保健福祉計画・砂川市介護保険事業計画

基本目標 ① 健やかに安心して暮らせるやさしいまち

施策
1-3

(障がい者福祉)

障がい者が地域で安心して生活できるまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

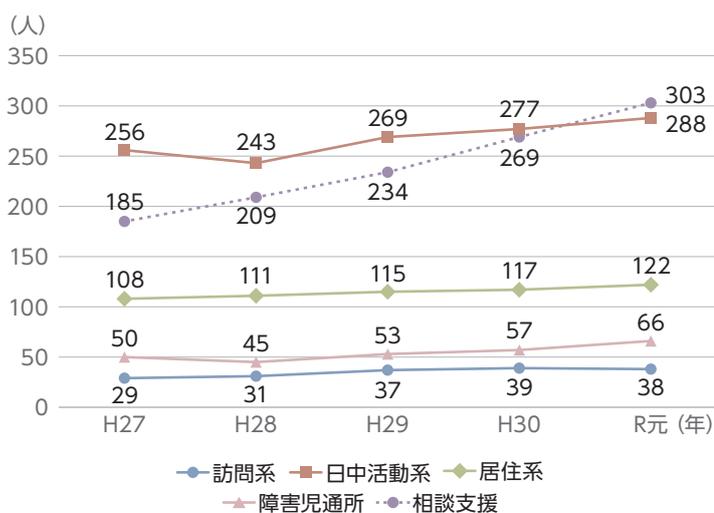
相談支援体制など、障がい者（児）への福祉サービスの充実を図り、住み慣れた地域で生涯にわたり、安心して豊かな生活を送ることができるまちを目指します。

現状と課題

障がいの種別に関わらず、共通の仕組みによってサービスが利用できるようになった障害者自立支援法の施行から15年が経過し、福祉サービス利用者数は年々増加傾向にあります。この間、障がい者への虐待・差別の禁止、発達障がい者や難病患者への支援など、ノーマライゼーション社会*の実現に向けた法整備も進み、障がい者などを取り巻く環境は大きく変化しています。

本市では、「砂川市障害者福祉計画」(障害児も含む)を策定し、各種事業を推進していますが、今後も関係機関の連携により、福祉サービスの充実を図り、障がい者が今後も住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、自立や社会参加の促進に向けた支援に取り組む必要があります。また、心身の発達や成長の遅れに心配のある児童や様々な障がいのある児童の早期発見、早期療育を充実させるために、保健・福祉・教育などの関係者の密接な連携を図るとともに、児童とその家族を重層的に支援するための体制を確保し、充実させていく必要があります。

障害福祉サービス利用者数の推移



(資料：保健福祉部介護福祉課)

用語解説

- * ノーマライゼーション社会……障害のある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしている社会。
- * 心のバリア……様々な心身の特性や考え方を持つ人々に対して、私たちの意識の中にある偏見や無理解。

基本事業とねらい

基本事業

① 障がい者福祉サービスの充実

障がい者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、障がい者福祉サービスの充実を図り、日常生活及び社会生活の支援に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
障がい者福祉サービスに不満がある障がい者の割合 (単位：%)	-	10.0	8.0	砂川市障害福祉計画の策定に係るアンケート調査で、「不満がある」・「やや不満がある」と回答した障がい者の割合

基本事業

② 生活環境整備の推進

障がい者の自立と社会参加を促進し、安心して快適に地域で暮らせるよう、公共施設のバリアフリー化を推進します。あわせて市民が心のバリア*を取り除き、障がい者の社会参加に積極的に協力する心のバリアフリー化を進めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
市内公共施設のバリアフリーに不満がある障がい者の割合 (単位：%)	13.0	10.0	7.0	砂川市障害福祉計画の策定に係るアンケート調査で、「不満がある」と回答した障がい者の割合
障がいを理由とする差別や嫌な思いをしたことがある障がい者の割合 (単位：%)	54.0	40.0	30.0	砂川市障害福祉計画の策定に係るアンケート調査で、障がいを理由とする差別や嫌な思いをしたことが「ある」・「少しある」と回答した障がい者の割合

基本事業

③ 雇用と就労の推進

就労を希望する障がい者を支援するため、障害者地域自立支援協議会などのネットワークの活用やハローワークとの連携により、障がい者雇用に対する企業意識を高め、就労機会の拡大に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
一般就労への移行者数 (単位：人/年)	3	4	5	就労移行支援や就労継続支援などの障がい者福祉サービスを受け、一般就労へ移行した障がい者の人数

基本事業

④ 相談支援体制の充実

障がい者が抱える悩みや心配ごとの解決に向け、障害者地域自立支援協議会における事例検討のほか、相談支援事業所や民生委員などの相談支援体制の周知を図り、障がい者及びその家族の生活改善に向けた支援に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
悩みや困りごとを相談した結果、状況が改善された障がい者の割合 (単位：%)	-	50.0	70.0	砂川市障害福祉計画の策定に係るアンケート調査で、悩みや困りごとを相談した結果、「解決した」・「解決はしていないが状況が改善した」と回答した障がい者の割合

基本事業

⑤ 早期療育の充実

保健・医療・福祉・教育などの関係機関の連携により、心身の発達や成長の遅れに心配のある乳幼児を早期発見・早期療育する体制を築き、適切な支援を行うことにより、社会適応性の向上を図ります。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
早期療育の支援を受けた乳幼児の割合 (単位：%)	79.2	90.0	100.0	成長発達に関して心配があり、早期療育を受けることが望ましいと考えられる乳幼児のうち、実際に療育サービスを受けた割合

関係個別計画

- ・砂川市障害者福祉計画
- ・砂川市障害福祉計画
- ・砂川市子ども・子育て支援事業計画
- ・砂川市次世代育成支援地域行動計画

基本目標 1 健やかに安心して暮らせるやさしいまち

施策
1-4

(地域福祉)
地域で支え合う福祉のまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

市民と行政の協働により、地域福祉活動の充実を図りながら、地域においてお互いに思いやりを持って支え合う意識を高め、地域福祉を推進するまちを目指します。

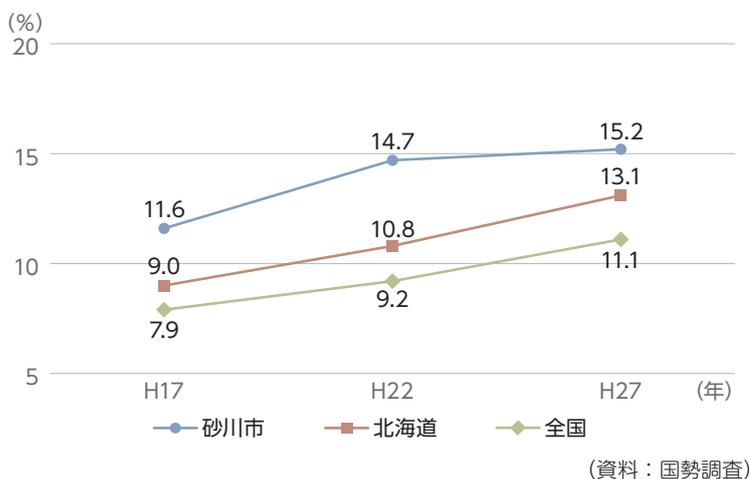
現状と課題

少子高齢化や核家族[※]化が進行し、家庭や社会環境が大きく変化する中、住み慣れた地域において安心して生活するためには、「自助・互助・共助・公助」を基本とした地域福祉の推進が求められています。しかし、地域福祉活動を支える町内会や福祉団体は減少・縮小傾向にあり、人材不足も深刻となっています。

身近な生活課題に対応していくためには、地域においてお互いに思いやりを持って支え合う意識を高め、市民と行政の協働による地域福祉活動を進めていく必要があります。

このことから、町内会や福祉団体、民生児童委員活動を支援するとともに、ボランティア活動に参加する人材の育成と確保に努め、地域福祉活動の充実を図る必要があります。

65歳以上の高齢単身者世帯割合の推移



用語解説

※ 核家族……夫婦、あるいは夫婦と未婚の子どもだけで構成される家族。

基本事業とねらい

基本事業

① 地域福祉活動の充実

社会福祉協議会と連携を図り、地域福祉活動を担う福祉団体や町内会の活動を支援するとともに、地域の相談窓口である民生児童委員活動を支援し、地域福祉活動の充実を図ります。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
市が活動を支援している福祉団体数 (単位：団体)	131	140	150	市が補助金の支出などにより活動を支援している福祉団体の数

基本事業

② 地域福祉の担い手の育成

社会福祉協議会と連携した福祉学習の推進や啓発活動により、地域においてお互いに思いやりを持って支え合う意識を高めるとともに、ニーズや地域課題に対応するボランティア活動に参加する人材の育成と確保に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
ボランティアセンターに登録している市民の割合 (単位：%)	2.5	3.0	3.5	総人口のうち、ボランティアセンターに登録している市民の割合



基本目標 ① 健やかに安心して暮らせるやさしいまち

施策
1-5

(健康)

心身ともに健康で暮らせるまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、市民自らが主体的に健康づくりや疾病予防に取り組むことができるよう、乳幼児期から高齢期までライフステージに応じた健康増進の取り組みを推進し、生涯を通じて心身ともに健康で暮らせるまちを目指します。

現状と課題

人生100年時代*を迎えるにあたり、健康寿命*を延伸し、自分らしい生活が維持できるよう、健康づくりや疾病予防の対策強化が求められています。

本市においても「健康すながわ21(第2次)」を策定し、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指し、生活習慣病の発症予防と重症化予防に重点を置きながら、市民が生涯を通じて心身ともに健康で暮らせるまちの実現に向けた健康づくり活動に取り組んできました。

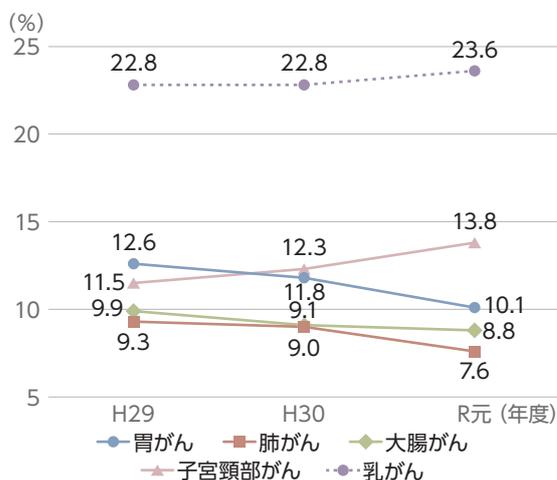
この取り組みにより、国保特定健診の受診率は少しずつ向上し、重症化予防対象者の早期発見につながるなど、生活習慣病の予防に重点を置いた活動を推進することができています。

がん対策については、「がん対策推進条例」を制定し、関係機関と連携のもと、啓発事業や将来の胃がん予防に向けたピロリ菌対策への取り組みを実施してきましたが、がん検診の受診率は低率で推移しています。

健康づくりや疾病予防の対策は、健診を入り口として自分の身体の現状を知ることから始まるため、更なる健(検)診の受診率向上に向けた取り組みが必要です。

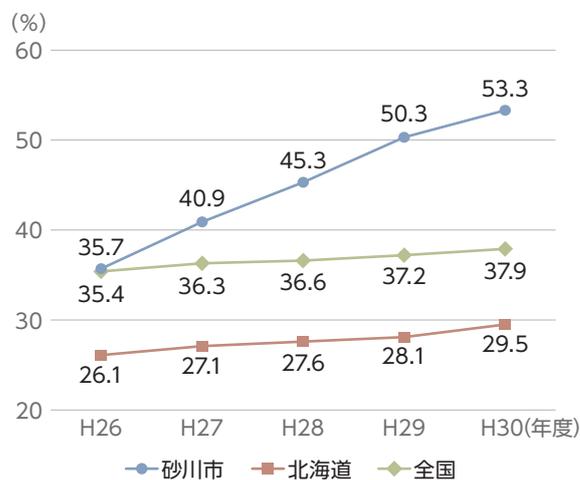
さらに、国保加入者以外や、健(検)診対象前であるより若い年代からの予防活動も重要であり、ライフステージに応じた健(検)診体制の充実を図るとともに、個々の努力に加え、それを支える地域での健康戦略や環境の整備、幼少期からの教育などへの取り組みも必要です。

各種がん検診受診率の推移



(資料：ふれあいセンター)

国保特定健診受診率の推移



(資料：ふれあいセンター)

基本事業とねらい

基本事業

① 健康づくり・疾病予防の推進

生活習慣病の発症予防・重症化予防を重点に、ライフステージに応じた健（検）診体制の充実と、市民一人ひとりが主体的に食や運動などの健康づくりや疾病予防に取り組むことができるよう、保健指導の充実や学習機会の拡充など、環境整備に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
国保特定健診受診率 (単位：%)	53.3	60.0	60.0	国保特定健診を受診した40～74歳の人の割合
メタボリックシンドローム 該当者・予備群の割合 (単位：%)	31.1	28.0	25.0	国保特定健診及び一般健診などの全受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の人の割合
重症化予防対象者の割合 (単位：%)	38.5	38.0	35.0	各種健診受診者のうち、重症化予防対象者(心房細動や血圧、脂質、血糖、腎機能などの基準値以上の人)の割合

関係個別計画

- ・健康すながわ21
- ・砂川市自殺対策計画
- ・砂川市食育推進計画
- ・砂川市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）
- ・砂川市高齢者保健福祉計画・砂川市介護保険事業計画



通年型介護予防教室

用語解説

- ※ 人生100年時代……ある海外の研究において、平成19年に日本で生まれた子供の半数が107歳より長く生きると推計された。これを受けて、100年という長い期間をより充実したものとするためには、生涯にわたる学習が重要であると考えられている。
- ※ 健康寿命……WHOが提唱した新しい指標で、平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間。

基本目標 ① 健やかに安心して暮らせるやさしいまち

施策
1-6

(医療)
安心して医療を受けることができるまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

多様化する医療ニーズに応えるため、中空知医療圏における医療機関の病床機能の分化や連携を推進するとともに、地域医療を守るための取り組みを通して、市民が住み慣れた地域で適切な医療を安心して受けることができるまちを目指します。

現状と課題

本市の医療は、2病院5診療所のほか、歯科・薬局・介護施設などが担っていますが、市内には慢性期や回復期リハビリテーションの病床はありません。また、診療所も少ないことから、国や北海道が推し進める医療の機能分化を進めるとともに、連携ネットワークシステム（砂川みまもりんく、そら-ねっと）などの利活用により、市外の医療機関などとも連携・協力し合い、中空知二次医療圏^{*}全体で治し、支える「地域完結型医療」を目指した取り組みを進めてきました。

そのような中、この地域では、住民の大病院・専門医志向や市内及び周辺の医療環境の変化などを背景に、市立病院に患者が集中し、医師をはじめとした医療従事者の疲弊が問題となっています。

「いのちをまもり、医療をまもる」ためには、住民、民間企業、行政、医療従事者それぞれが協力・理解し合い、少しずつ、できることから取り組む必要があります。

こうした課題に対し、高度急性期^{*}・急性期医療や専門医療を担う病院と地域の診療所の連携強化や、在宅医療機能の強化、また、医師を含む医療従事者の確保を図りながら、適正受診やかかりつけ医の普及啓発に取り組むなど、あらゆる「地域医療を守る取り組み」を行う必要があります。

市立病院事業については、診療報酬^{*}制度などの外的要因や、多額の企業債償還、建物の経年による維持管理費の増加など、厳しい病院経営が予想されますが、引き続き、地域に必要な医療を提供するため、組織基盤の強化と経営基盤を安定させていく必要があります。

医療施設と医療従事者の状況

区分	医療施設（平成30年11月現在）				医療従事者（平成30年12月31日現在）				
	病院 (箇所)	一般 診療所 (箇所)	歯科 (箇所)	病床数 (床)	医師 (人)	歯科医師 (人)	看護師 (人)	准看護師 (人)	
実数	砂川市	2	6	8	622	104	14	528	65
人口 10万人 あたり	砂川市	11.3	33.9	45.2	3,515.3	587.8	79.1	2,984.1	367.4
	北海道	10.4	53.4	55.4	1,746.5	249.5	82.1	1,197.7	310.3

(資料：日本医師会「地域医療情報システム」、厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」、北海道保健福祉部)

基本事業とねらい

基本事業

① 地域医療体制の推進

市民が安心して医療を受けることができるよう、中空知医療圏で完結する医療体制の構築に向け、病床機能の分化や医療機関相互の役割分担・連携を推進します。さらに休日及び平日夜間などの救急患者に対する適切な医療体制を確保するなど、地域医療体制の推進を図ります。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
中空知医療圏医療機関への救急搬送率 (単位：%)	99.9	100.0	100.0	救急搬送された砂川市民のうち、中空知医療圏の医療機関へ搬送される割合

基本事業

② 市立病院事業の充実

市立病院が地域で担うべき医療を提供できるよう、関係機関が協力し理解し合うことで、診療体制の維持と医療従事者が働きやすい組織基盤の強化、経営基盤の安定を図ります。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
経常収支比率 (単位：%)	94.2	100.0	100.0	市立病院の経常的に支出される費用（給与費など）に対する収益の割合（100%以上は単年度黒字を表す）

関係個別計画

- ・砂川市立病院改革プラン



市立病院（ドクターヘリによる患者搬送）



市立病院附属看護専門学校

用語解説

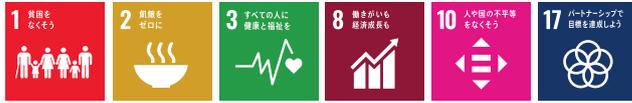
- ※ 中空知二次医療圏……特殊な高度医療をのぞき、入院までの医療に対応できるように、砂川市、芦別市、赤平市、滝川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、雨竜町の5市5町で構成された圏域。
- ※ 急性期……病気が発症し急激に容体が変わり、健康が失われ不健康となった状態をいい、発症後おおよそ14日間以内が急性期の目安となる。
- ※ 診療報酬……保険医療機関及び保険薬局が保険医療サービスに対する対価として保険者から受け取る報酬。

基本目標 1 健やかに安心して暮らせるやさしいまち

施策
1-7

(社会保障制度)
社会保障制度の健全運営に努めるまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

社会保障制度の健全な運営に努め、経済的な自立の支援や相互扶助により、誰もが安心して生活できるまちを目指します。

現状と課題

少子高齢化の進行は医療保険、介護保険などの社会保障制度に影響を及ぼしており、市民生活に対しても給付や負担の面においてその影響が波及しています。

低所得者福祉については、就労が困難な高齢者や障がい及び傷病に起因する生活困窮者が増加傾向にあることから、適切な相談・調査により、早期かつ包括的に生活に困窮する者を把握し、最低生活を保障するとともに、自立した生活に向けた支援に取り組む必要があります。

また、社会保障を必要とする際に、誰もが必要な保障を受けられ、安心して暮らすことができるよう、社会保障制度の健全な運営に努める必要があります。



基本事業とねらい

基本事業

① 低所得者福祉の充実

最低生活を保障するとともに、生活に困窮する低所得者に対し、安定した生活を送ることができるよう、相談・支援を行い、自立の促進を図ります。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
生活保護・生活困窮者自立相談支援事業により就労を果たしている人の割合 (単位：%)	52.0	↗	↗	就労可能な者のうち、各種就労支援などにより継続して就労できている人及び新規就労を果たした人の割合

基本事業

② 地域保険の推進

将来にわたって安心して医療を受けることができるよう、医療費の適正化を図り、地域保険の健全な運営に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
保険者努力支援制度*における得点率 (単位：%)	68.3	71.3	71.3	保険者努力支援制度で満点のうち、獲得した点数の割合

基本事業

③ 介護保険制度の円滑な推進

介護や支援を必要とする市民が、住み慣れた地域で安心して自分らしく生活できるよう、介護保険制度の安定的な運営や適正な介護基盤の整備に努めるとともに、介護保険サービスが必要な市民に適切に提供されるよう制度の普及啓発に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
介護認定者総数に占めるサービス未利用者の割合 (単位：%)	21.7	20.2	18.7	要介護(要支援)認定者のうち、介護サービス、介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型・通所型)サービスを利用していない人の割合

関係個別計画

- ・砂川市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)
- ・健康すながわ21
- ・砂川市高齢者保健福祉計画・砂川市介護保険事業計画

用語解説

※ 保険者努力支援制度……保険者(都道府県・市町村)における予防・健康づくり、医療費適正化等の取組状況に応じて交付金を交付する制度。